

講演

9 条をめぐる動きと政府の憲法解釈

——米軍基地、武器輸出、国会の憲法論議

浦田一郎 (うらた いちろう)

1946年生まれ。憲法学。1974年、一橋大学大学院法学研究科中途退学。山形大学助教授、一橋大学教授を経て、現在、明治大学教授。主たる著書には、『シエースの憲法思想』(勁草書房、1987年)、『現代の平和主義と立憲主義』(日本評論社、1995年)、『立憲主義と市民』(信山社、2005年)、『自衛力論の論理と歴史』(日本評論社、2012年5月刊行予定)

9 条、「同盟」、沖縄の関連

明田川融 (あけたがわ とおる)

1963年生まれ。法政大学で博士号取得。政治学。法政大学等非常勤講師。著訳書『安保条約の論理：その生成と展開』(柏書房、1999年、共著)、『各国間地位協定の適用に関する比較論考察』(内外出版、2003年、共著)、『沖縄基地問題の歴史：非武の島、戦の島』(みすず書房、2008年)、ジョン・W・ダワー『昭和：戦争と平和の日本』(みすず書房、2010年、監訳)

日時：6月9日(土)

13:30~16:30 (開場 13:00)

会場：韓国 YMCA 地下ホール

(JR 水道橋駅より徒歩 10 分 地図参照)

参加費：1000 円

主催：九条の会事務局

東京都千代田区西神田 2-5-7-303

TEL 03-3221-5075 FAX 03-3221-5076

<http://www.9-jo.jp/>

予約は不要です。当日、直接会場においでください。

定員は 250 名です。

九条の会 発足8周年 学習会

9 条をめぐる動きは、いま

東日本大震災から一年。原発事故や地震・津波の災禍は未だに収束しておらず、多くの人々が苦しんでいます。にもかかわらず、これをよそに国会では憲法審査会が始動し、民主党や自民党、およびさまざまな新党の動きのなかで、改憲が声高に叫ばれています。また政府は、武器輸出三原則を変更し、普天間基地の名護市辺野古地区への移設に固執しています。そこで事務局では「情勢学習会」を企画しました。ぜひお誘いあわせてご参加ください。



東京都千代田区猿樂町 2-5-5